

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年10月15日

【会社名】 株式会社ファステップス

【英訳名】 Fasteps Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役 川嶋 誠

【本店の所在の場所】 東京都新宿区四谷四丁目32番4号

【電話番号】 03(5360)8998(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 村山 雅経

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区四谷四丁目32番4号

【電話番号】 03(5360)8998(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 村山 雅経

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【提出理由】

当社は、平成27年10月15日開催の取締役会において、エムアンドケイ株式会社（以下、「エムアンドケイ」といいます。）の株式の全部及びPlurecil Holdings Limited（以下、エムアンドケイと併せて「エムアンドケイグループ」といいます。）の出資持分の全部を取得し、両社を完全子会社化すること（以下、「本子会社化」といいます。）について決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号及び第8号の2の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

### 1. 特定子会社の異動（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号に基づく報告）

#### (1) 当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容

名称	エムアンドケイ株式会社
住所	東京都目黒区碑文谷四丁目24番13号
代表者の氏名	代表取締役 村井 幸生
資本金	60百万円
事業の内容	化粧品、美容器具の販売

#### (2) 当該異動の前後における当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数及び当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数	
異動前	0個
異動後	743個
当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合	
異動前	0%
異動後	100%

#### (3) 当該異動の理由及びその年月日

##### 異動の理由

当社は、平成27年11月1日にエムアンドケイ株式会社を子会社化する予定であります。

当該子会社の純資産の額が、当社の純資産の額の100分の30以上に相当し、当社の特定子会社に該当することになったためであります。

##### 異動の年月日

平成27年11月1日（予定）

### 2. 子会社取得の決定について（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2に基づく報告）

#### (1) 取得対象子会社の概要

##### (エムアンドケイ)

商号	エムアンドケイ株式会社		
本店の所在地	東京都目黒区碑文谷四丁目24番13号		
代表者の氏名	代表取締役 村井 幸生		
資本金の額	60,265,000円		
純資産の額	584,510千円（平成27年3月31日現在）		
総資産の額	750,396千円（平成27年3月31日現在）		
事業の内容	化粧品、美容器具の販売		
取得対象子会社の最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益			
決算期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
売上高	888百万円	891百万円	842百万円
営業利益	181百万円	102百万円	131百万円
経常利益	184百万円	109百万円	163百万円
当期純利益	122百万円	67百万円	88百万円

取得対象子会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社は当該会社との間に、システム開発等の取引関係がありません。

(Plurecil Holdings Limited)

商号	Plurecil Holdings Limited		
本店の所在地	UNIT06, 11/F, SOUNDWILL PLAZA, NO.38 RUSSELL STREET, CAUSEWAY BAY, HONG KONG		
代表者の氏名	代表取締役 村井 幸生		
資本金の額	10万香港ドル (1,579,000円)		
純資産の額	333千香港ドル (5,258千円) (2015年6月30日現在)		
総資産の額	5,655千香港ドル (89,292千円) (2015年6月30日現在)		
事業の内容	化粧品、美容器具の販売		
取得対象子会社の最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益			
決算期	2013年6月期	2014年6月期	2015年6月期
売上高	735千香港ドル (11,889千円)	1,997千香港ドル (31,532千円)	4,127千香港ドル (65,165千円)
営業利益	520千香港ドル (8,210千円)	778千香港ドル (12,284千円)	945千香港ドル (14,921千円)
経常利益	577千香港ドル (9,110千円)	876千香港ドル (13,832千円)	1,863千香港ドル (29,416千円)
当期純利益	577千香港ドル (9,110千円)	876千香港ドル (13,832千円)	1,555千香港ドル (24,567千円)
取得対象子会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。	
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。	
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。	

(注) 1. 2015年6月期は監査前の数値となります。

2. 1香港ドル = 15.79円 2015年6月30日の為替レートで換算しております。

## (2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

エムアンドケイ及びPlurecil Holdings Limitedは、「まつげエクステンション」専門のプロ向け商材の販売、及びまつげエクステンションの施術者を育成するためのスクール事業を行うとともに、まつげエクステンション専門のサロンを運営しております。エムアンドケイグループのサロンは、「プロケアアイラッシュ」のブランドによりまつげエクステンション専門サロンとして富裕層や有名人をはじめ各方面の多くの方々からご好評をいただいております。東京を中心に全国で直営10店舗を運営しております。また「PLURECIL(プルレシル)」ブランドにより、香港において直営1店舗を運営されております。さらに、「プロケアアイラッシュ」及び「PLURECIL(プルレシル)」については、上記の直営サロンのほか、フランチャイズにより、全国で1店舗、中国で22店舗をそれぞれ運営されており、積極的なフランチャイズ展開を行うことで、全国及びアジアを中心に店舗拡大を図っております。また、世界を見据えたPLURECIL(プルレシル)ブランドにおいては、商標の登録を(出願中の商標を含む)日本の他、アメリカ、Asia-Pacificエリア(中国、香港、台湾、韓国、タイ、ベトナム、ミャンマー、シンガポール、マレーシア、インドネシア、インド)、EU(欧州連合加盟27カ国)、ロシア、ブラジルの計42カ国にまで広げ、既にタイ(3店舗)ブラジル(1店舗)にてフランチャイズ展開しており、今後は全世界にて展開することを予定しております。

他方、当社は、システムソリューション事業、メディアソリューション事業及びコストマネジメント事業に加え、美容機器販売やエステサロン運営を行うシェイプファンデ事業を主な事業として行っております。当社において中長期的な成長と安定的・持続的な企業価値向上を実現するには、当社の経営基盤の強化・多角化を図ることが必要不可欠であると認識しており、今後の成長が見込まれるシェイプファンデ事業に対し、より積極的な資源分配を行うことが最善の施策であると考えております。このような認識のもと、当社は、平成26年3月に、女性用補正

下着等の衣料品、ボディケア化粧品及び栄養補助食品等の販売事業並びにエステサロンの運営を主たる事業とする株式会社NSF（以下「NSF」といいます。）を完全子会社化し、シェイプファンデ事業の拡大・強化を図りました。

当社とエムアンドケイグループとの間では、平成24年8月に、当社がエムアンドケイグループから予約・受付等に係るITシステムの開発業務を受託して以降、当該システムの保守業務等を通じて良好な取引関係を継続してまいりました。その中で、当社の代表取締役である川嶋誠と、エムアンドケイの代表取締役であり、かつPlurecil Holdings Limitedの出資者である村井幸生氏との間で、両社の事業戦略や資本政策に関する様々な可能性について協議・検討を継続した結果、同氏から、当社のシェイプファンデ事業の拡大・強化のために、エムアンドケイの株式及びPlurecil Holdings Limitedの出資持分の全てを当社に譲渡し、エムアンドケイ及びPlurecil Holdings Limitedを当社の完全子会社とすることに賛同いただきました。

今般、エムアンドケイグループを完全子会社化することにより、当社のシェイプファンデ事業がさらに拡大・強化されるものと考えております。具体的には、エムアンドケイグループ及びNSFの顧客層は共通するため、一方のサービス・商品を他方の顧客に紹介することや同一の店舗において両社のサービス・商品を併せて提供することが可能となり、効率的に事業規模を拡大させることができます。また、上記のとおり、Plurecil Holdings LimitedはNSFの店舗がない中国において複数の店舗を有しているところ、当社のシェイプファンデ事業のグローバル展開を加速させる上での大きな足掛かりになると考えております。

以上のとおり、エムアンドケイグループの事業と当社の事業を統合することにより、大きなシナジー効果が期待でき、結果として当社の経営基盤が強化され、中長期的な成長と安定的・持続的な企業価値の向上に大きく寄与すると考えられることから、エムアンドケイグループを完全子会社化することといたしました。

### (3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

株式及び出資持分取得価額

i) エムアンドケイの株式の取得価額

1,500百万円

ii) Plurecil Holdings Limitedの出資持分の取得価額

1百万円

アドバイザー費用等（概算額）

3百万円

合計（概算額）

1,504百万円